

所報

たまじむ

創刊 平成7年 7月 1日
発行 令和3年 12月 15日

通算 第 **84** 号

東京都多摩教育事務所
東京都立川市錦町4-6-3
Tel 042-524-7222

学習の基盤となる言語能力の確実な育成

1 特集について

言語は、児童・生徒の学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となるものです。

言語能力を構成する資質・能力は、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力等」、「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱に整理されています。資質・能力の三つの柱は、それぞれ独立して育まれるものではなく、それらが働く「認識から思考へ」、「思考から表現へ」という過程の中で、相互に関係し合いながら育成されるものです。

言語能力の向上は、子供の学びの質の向上や資質・能力の育成の在り方に関わる重要な課題として受け止め、重視していくことが求められています。

そこで、本特集では、学習の基盤となる言語能力を育成するための三つのポイントについて紹介します。

2 紙面の活用について

学習の基盤となる資質・能力である**言語能力の育成の重要性**が**確認**できます。

言語能力を育成するための過程が**理解**できます。

言語能力を構成する資質・能力について**確認**できます。

言語能力を育成するための**三つのポイント**が**理解**できます。

言語能力の育成の重要性

言語能力は、学習の基盤となる資質・能力であり、言語は、児童・生徒の学習活動を支える重要な役割を果たすものです。

言語能力とは

言語能力は、人間が蓄積した情報を基に思考し、思考したものを表現していく過程に関する能力を指す。「言語能力を構成する資質・能力」として、次のように整理されています。

言語能力を構成する資質・能力

| | | |
|-----------------|--|-------------------------|
| 知識・技能の領域 | 読解力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
| 言語の働きや仕組みに関する理解 | アクセント、音韻、発音、文法、語彙、ことばの機能、ことばの運用、ことばの理解と受け取り等 | 目的のものを発音や書字の力で伝えようとする態度 |
| 理解と受け取り等 | | 必要に応じて適切な方法を選択し、活用する |

言語能力を育成するためのポイント

「認識から思考へ」「思考から表現へ」という過程の中で育成

ポイント1 言語能力を構成する資質・能力が働く過程

認識 → 思考 → 表現

知識・技能の領域
読解力、判断力、表現力等

学びに向かう力、人間性等
目的のものを発音や書字の力で伝えようとする態度

必要に応じて適切な方法を選択し、活用する

ポイント2 教科等を要とした発達段階に応じた言語能力の育成

各教科等において、言語能力を要する授業の展開の場面を把握し、教科等の「A着くこと」「B書くこと」「C読むこと」を参考にすること

例 小学校国語「B 書くこと」

5年生及び6年生

題材の決定
題材の準備
内容の検討
専任の確保

題材と表現、表現と内容を区別し、自分の考えが伝わりやすい表現方法を工夫すること

状況
文章全体の構成や書き出し方などに着目して文章を教えること

ポイント3 各教科等の特徴に成した言語活動の充実

各教科等の言語活動は、言語能力を育成することに、各教科等が育成する資質・能力を踏まえて総合的に実施する必要がある

小学校国語「書くこと」の言語活動例

読解力育成活動
読解力・判断力・表現力育成活動
学びに向かう力・人間性等育成活動

●観察、実験の結果を整理し、考察する学習活動

①観察と結果を整理して整理する。
②観察と結果を区別して考察を書く。
③観察を基に結論などの方法を振り返り、再検討する。

言語能力の確実な育成

もっと詳しく知りたい

<二次元コードから、本特集の解説動画が視聴可能>





10秒でできる
Webアンケートはこちら

学習の基盤となる言語能力の確実な育成

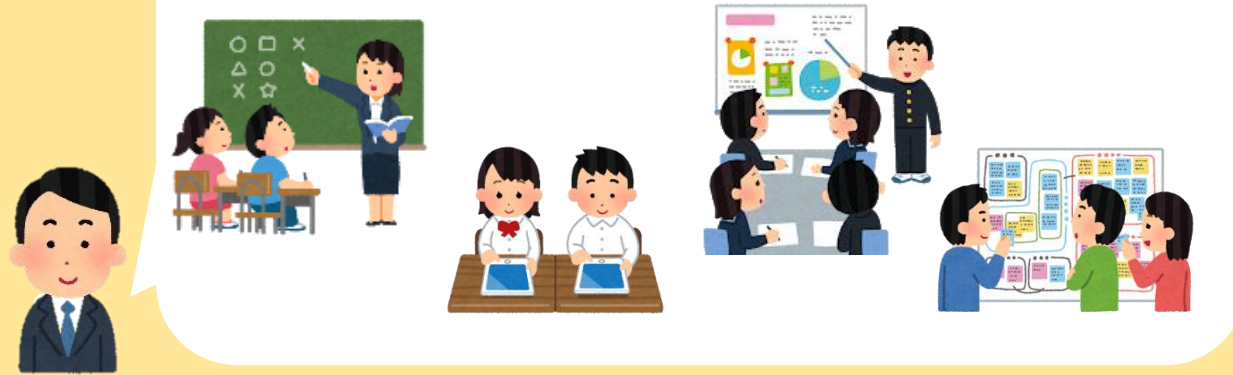


この特集全体の
詳しい内容はこちら

言語は、児童・生徒の学習活動を支える重要な役割を果たすものであり、全ての教科等における資質・能力の育成や学習の基盤となるものです。また、言語能力の向上は、児童・生徒の学びの質の向上や資質・能力の育成の在り方に関わる重要な課題になっています。そこで、本特集では、学習の基盤となる言語能力を育成するための3つのポイントについて紹介します。

言語能力の育成の重要性

言語能力は、**学習の基盤となる資質・能力**であり、言語は、児童・生徒の**学習活動を支える重要な役割を果たすもの**です。



言語能力とは

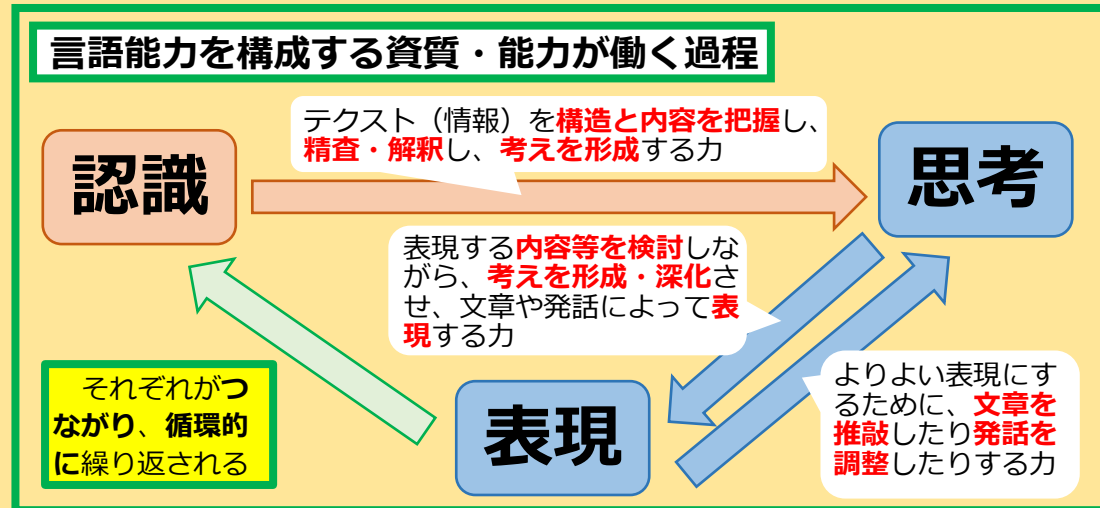
言語能力は、人間が認識した情報を基に思考し、思考したものを表現していく過程に関する分析を踏まえ、「**言語能力を構成する資質・能力**」として、次のように整理されています。

言語能力を構成する資質・能力

| 知識及び技能 | 思考力、判断力、表現力等 | 学びに向かう力、人間性等 |
|--|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○言葉の働きや役割に関する理解 ○言葉の使い方に関する理解と使い分け等 | テキスト(情報)を理解したり、文章や発話により表現したりするための力 <ul style="list-style-type: none"> ○情報を多面的・多角的に精査し構造化する力 ○言葉によって感じたり想像したりする力 | <ul style="list-style-type: none"> ○自分のものの見方や考え方を広げようとする態度 ○心を豊かにしようとする態度 |

言語能力を育成するためのポイント

ポイント1 「認識から思考へ」「思考から表現へ」という過程の中で育成



ポイント2 国語科を要とした発達の段階に応じた言語能力の育成

各教科等において、言語能力を支える語彙の段階的な獲得も含め、国語科の「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」を参考にする

例 小学校国語「B 書くこと」

| | 第5学年及び第6学年 |
|-------|---|
| 題材の設定 | 集めた材料を分類したり、関係付けたりすること |
| 情報の収集 | |
| 内容の検討 | |
| 構成の検討 | 事実と感想、意見とを区別して、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること |
| 考えの形成 | |
| 記述 | |
| 推敲 | 文章全体の構成や書き表し方などに着目して文章を整えること |
| 共有 | |

ポイント3 各教科等の特質に応じた言語活動の充実

各教科等の言語活動は、**言語能力を育成するとともに、各教科等で育成を目指す資質・能力を身に付けるために充実を図る学習活動**である

小学校理科(第6学年)の言語活動例

理科で育成を目指す**資質・能力**
より**妥当な考え**をつくりだす力

思考力、判断力、表現力等

言語能力を構成する**資質・能力**
情報を**多面的・多角的に精査し**構造化する力

◆**観察、実験の結果を整理し考察する学習活動**

- 原因と結果を関係付けて整理する。
- 事実と解釈を区別して考察を書く。
- 結果を基に実験などの方法を振り返り、再検討する。

言語能力の確実な育成

参考文献 ① 「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～(答申) (令和3年1月26日 中央教育審議会) ② 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 小学校理科(令和2年3月 国立教育政策研究所)

③ OECD 生徒の学力到達度調査 2018年調査(2018PISA)のポイント(令和元年12月3日 国立教育政策研究所) ④ 幼稚園、小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の学習指導要領等の改善及び必要な方策等について(答申)及び補足資料(平成28年12月21日 中央教育審議会)

⑤ 小学校及び中学校学習指導要領(平成29年告示)解説 総則編(平成29年7月 文部科学省) ⑥ 言語能力の向上に関する特別チームにおける審議の取りまとめ(平成28年8月26日 教育課程部会)